



地域医療連携室だより Vol. 91

平成 29 年 1 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

<http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

新年のご挨拶



大津市民病院 院長
片岡 慶正

明けましておめでとうございます。
皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
平素は当院の運営に格別のご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、今年の干支は酉です。この酉という漢字は、果実が成熟の極限状態にある様を表し、「酒」という字に用いられ、収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」という意味もあるようです。新しい一年が皆様にとりまして実り多き一年でありますことを祈念しつつ、決意も新たに皆様とともに歩ませていただく所存です。

医療を支える基盤として“情報共有”と“人間力”がクローズアップされていますが、だれもが住みやすい安心・安全な社会の構築にはこのネットワークの整備と充実が最重要です。「患者のニーズに応じて医療ははじめてその輝きを増す」—この金言は、われわれ医療者を常に前に向かせてくれます。

昨年 3 月には滋賀県地域医療構想が策定されました。大津保健医療圏での急性期機能は 2025 年には 1.22 倍増加し、その後も増加する見込みです。昨年も診療所訪問をさせていただき、『かかりつけ医』制度の浸透を図ってまいりました。当院では逆紹介を積極的に推進しており、『かかりつけ医』を紹介しているパンフレットコーナーはいつもご好評いただいております。

この 4 月から当院は“地方独立行政法人市立大津市民病院”として新生しますが、地域に根ざして積み重ねてきた信頼をさらに向上し、今後も地域医療支援病院として急性期医療の中核病院としての責務を果たし続けてまいります。法人化の強みを活かして、一層の機動力と笑顔に満ちた『市民とともにある健康・医療拠点』をグレードアップいたします。

「一年は正月に 一生は今にあり」—病床から発した正岡子規のこの句の念いを、当院の法人化移行に向けて遺伝子導入したいものです。

当院をご利用いただく皆様が笑顔と希望で輝いていただけるよう新たな決意のもと新年を迎えました。結びに、新しい一年が皆様にとりまして幸多い一年でありますことを心からお祈り申し上げます。本年もよろしく願い申し上げます。



大津市民病院 大学レポート

第 7 回 健康講座

12 月 6 日(火)14 時～15 時、大津市民病院 9 階大会議室にて平成 28 年度 第 7 回大津市民病院大学 健康講座を開催いたしました。
講師は、木原 晴美(栄養部管理栄養士)、テーマは「心臓病予防のための食生活について」、参加者は院外 50 名 院内 9 名合計 59 名でした。



内容は、「滋賀県民の食事」「バランスのよい食事」「減塩した食事」と 3 つの項目でした。

主食、主菜、副菜の 3 つのお皿について手軽に量がはかれる「手量り:両手のくぼみにのる量」という方法を紹介し、さらに具体的に絵や写真を用いてメニューをあげ、とてもわかりやすかったという感想が多く寄せられました。

ご夫婦で参加された方も数組おられ、食生活という身近な内容であり今後の生活に活かしていきたいと、とても好評でした。

今年度の大津市民病院大学・健康講座は全講座修了しました。来年度も魅力あるテーマで開催していきたいと思っております。